

高速道路発掘物語

～新発見ぞくぞく!

あさけ
朝明のいにしえへ

こうそくどうろはつくつものがたり

そらんぼ四日市（四日市市立博物館）で、第35回三重県埋蔵文化財展「高速道路発掘物語」を開催しています。今回は、展覧会の舞台裏、展示の準備風景を紹介します。



1 会場レイアウト案を元にパーテーションを移動。ゆがみが出ないように注意が必要です。



2 高さをそろえてパネルを設置していきます。隣のバランスを見ながら調整します。



3 梱包した土器を1点ずつ取り出します。事前に準備した展示計画案を元に仮置きします。



4 展示台の上に丁寧に並べます。倒れないように、固定をするときもあります



5 伊坂城の大甕です！
運搬するときに揺れて壊れないように、厳重に梱包しています。木枠は、この大甕に合わせてつくったものです。



6 遺物の数が多く、梱包を解くのも一苦勞。



7 伊坂城の礎石を展示室に再現しました。



8 ちょっと一息、
作戦会議……。



9 伊坂城のやぐら門、建設中！



10 やぐら門。実物の1/2サイズです。



11 ライティングを調整します。



12 片づけをして、オープン間近！

このようにしてできた展示は、
わずか1ヶ月間しか見ることが
できません。この機会に、ぜひ
ご覧ください！

平成28年7月17日（日）まで
会場：そらんぼ四日市 4階
（四日市市立博物館）